

平成24年度

久米島町教育委員会の事務に関する  
点検・評価報告書

平成25年9月

久米島町教育委員会

## ま え が き

久米島町教育委員会では、子ども達が「島に誇り」・「心に夢」を持ち、「個性豊かで創造性・国際性に富む活力ある人材」を目指すことができるよう教育振興に努めております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、久米島町教育委員会の活動状況及び教育施策の実施状況についての点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

なお、点検・評価に当たっては、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとしました。

久米島町教育委員会委員名簿（平成25年9月1日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	儀間周倫	22年7月10日から26年7月9日
職務代理者	山元朝弥	23年7月10日から27年7月9日
委員	當間裕子	25年7月10日から29年7月9日
委員	儀間剛	24年7月10日から28年7月9日
委員（教育長）	比嘉隆	22年7月10日から26年7月9日

## 学識経験者名簿（五十音順）

役 職	氏 名
元教育委員会委員長	嘉味元ミツ子
久米島 PTA 連合会会長	吉原 昌司
前教育委員会委員長	松本 一也

### I はじめに

#### 1 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な教育行政事務を執行するものです。このため、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があります。

このようなことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正において、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが定められています。

町教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、町ホーム・ページ等で公表し、町民への説明・責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

#### 2 対象事業と点検・評価の方法

（1）久米島町教育委員会が策定した「平成24年度久米島町教育委員会事務事業」において、主要な事業の取り組み並びに達成状況について点検・評価を行いました。

## (2) 評価方法

教育施策の各項目について、達成度により内部（自己）評価しました。

・達成度（A～D）

A・・・十分達成できた

B・・・概ね達成できた

C・・・やや不十分である

D・・・不十分である

## (3) 外部評価

点検・評価にあたり、点検評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の3名の方にご意見をいただきました。

・

## (4) 評価基準日

平成25年3月31日

## 平成24年度 久米島町教育主要施策

久米島町教育委員会

教育主要施策の策定にあたっては、国や県の教育改革の動向、県の重点施策の基本方針、第3次沖縄県教育推進計画等を踏まえ、「平成24年度久米島町教育主要施策」を定めました。

### 教育の目標

- ◆自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ、幼児児童生徒を育成します。
- ◆平和で安らぎと活力のある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健全な町民を育成します。
- ◆家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会を推進します。

### 目標達成のための主要施策

#### 学習指導の工夫・改善・充実

学校教育においては、幼児児童生徒一人一人に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成及び豊かな心、健やかな体の育成など「生きる力」をはぐくむ学習活動を教育活動全体で充実させることが重要であり、自らの個性を生かし社会の変化に主体的に対応できる能力や創造性の基礎を培う育成を目指します。

この為、学校においては、教育活動全体を通じて、個に応じた指導を充実させるとともに、目的意識を高める指導方法等の改善・充実を図る等、適切な教育課程の編成・実施に努めます。

また町教育委員会においては、管内各学校が創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成・実施できるよう各学校の実情に応じた適切な支援を実施します。

主要項目	内 容	取 り 組 み	課 題	評 価
学力調査	1, 全国学力学習状況調査 2, 県到達度テスト 3, 標準学力検査 4, 4基礎学力テスト	1, 小6年生・中3年生 2, 小3・5年生、中2年生 3, 小4～6年生、中全学年 4, 中3年生（中高一貫教育）	各小学校及び中学校で学校間・学年間・男女間において二極化の傾向があり、学年に応じた基礎学力が定着していない。各学年で基礎学力を確立し繋ぎの取り組みが必要	C
読書実態調査	本に親しむことで、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし読解力・思考力を培うことができる	読書数値目標小学校110冊、中学校40冊を目標とする。	読書冊数は小学校・中学校ともはクリアしているが、学力に伴う語彙力・読解力が弱い	A
検定支援	1, 漢字検定 2, 英語検定	1, 小学校2年以上に漢字検定 2, 中学校生全員対象	学校で積極的に検定を受けさせ、上位進級への向上心を芽生えさせる取り組みが必要	A
教育課程研究	教師の授業づくりの改善・充実を図るため国語・算数部会を設置し課題研究に取り組む	国語・算数部会にそれぞれ指導講師を配置、研究員グループでわかる授業の構築を図る	検証授業等が多くなり研究する日程調整等が困難となっている	B
公設塾	1, 島内小学生の学習支援としてゆいまー塾開設 2, 県の離島僻地支援事業としてにゅうまー塾を開設	1, 本町児童の学力向上を図るため3・4年生を対象に塾を開設支援する 2, 学習支援員を配置し中学生の学力定着を支援する	塾開講の周知不足、又、保護者に意義が十分に理解されてなく児童・生徒の受講が少ない	C

久米島町学力向上実践発表会	学校・家庭・地域が一体となり実効性のある取り組みがなされるよう諸施策や具体的支援を通して学力向上対策を推進する	各中学校ブロックにより11月11日(日)開催	学校・家庭・地域連携の学力向上を目指しているが、保護者や地域の方の参加が少ない	B
---------------	---	------------------------	---	---

### 道徳・人権教育の充実

人権教育は、生命を大切にし、自他の人格を尊重し、互いの個性を認め合う共生の心などの豊かな人間性をはぐくむことを目指して行うことが重要であり、学校においては、人権尊重の考え方や共生の心について正しく身に付けさせる指導を充実させるとともに、日常的なかかわりの中で、教職員、児童生徒相互の人間関係づくりに努めています。

主要項目	内 容	取り組み状況	課題	評 価
道徳・人権教育	1, 児童・生徒の学校生活を把握する為、いじめ・不登校等を調査する  2, スクールカウンセラーを配置し児童・生徒・保護者の支援を行う	1, 不登校・いじめ・暴力行為等の調査を実施  2, 相談員を配置し学校での支援を行っている	1, 毎月、調査を実施し子ども達の言葉遣いの指導、不登校・いじめがないよう取り組んでいる  2, 子ども達の悩みに多様性があり現場からのニーズが多く人員不足の状況である	A

## たくましい心と体をはぐくむ教育の推進

幼児・児童・生徒の体力の向上と健康の保持増進を目指し、健康教育及び保健教育の充実を図ります。又、教育活動の基盤となる安全な生活の確保のために諸事業を展開し、生涯スポーツの基礎を培うと共に、体力の向上が図れるよう学校体育の充実に努めます。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
体力向上・健康保持増進	1, 体力・運動能力、運動習慣等調査の実施 2, 幼児児童生徒健康診断 3, 健康教育講演会の開催	1, 体育・スポーツ推進を図るため清水小学校を研究指定校 2, 健康管理システムを導入、健康管理に努める 3, 学校保健委員会を開催	1, 児童生徒の柔軟性・持久力に課題あり、町全体に小・中学校に肥満傾向の子ども達が多い 2, 健康を損ねている子ども達の保護者の意識が弱い	A
交通安全指導	学校, 家庭地域, 警察等の連携により, 安全指導体制の確立と安全管理の充実を図る	新学期に幼・小1年を対象に安全協会・警察と連携し信号機・横断歩道を活用し身を守る学習を実施	登校時に各小学校校門にて、交通安全指導・挨拶運動をボランティアで展開しているが、人材が少ない	A

## キャリア教育の充実

児童生徒にゆめや希望を育ませ、時代の変化に力強くかつ柔軟に対応し、主体的に生きることができる自立した社会人・職業人の育成を図ることが乙女等れている。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
ジョブシャドウイング学習・職場体験学習	児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し勤労観・職業間の育成に努める	町内各小学校の児童・生徒が職場を訪問し、観察若しくは体験をする	島内に限られた事業所しかなく児童・生徒の体験したい要望に応える事ができない	A



## 食育の推進

食生活を取り巻く社会環境の変化などに伴い、食生活の乱れ、肥満・過度の痩身など生活習慣病と食生活の関係が指摘され望ましい食習慣が求められている。学校教育全体を通じた食育の推進に努め家庭や地域、関係機関と連携し児童生徒の健全な成長を支援する。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
給食センター運営	児童・生徒の健やかな成長を育むため、安全、安心な給食を提供する	小学生 5 4 6 名・中学生 2 6 2 名・教職員 1 3 2 名 に給食を提供	安全・安心そして子ども達の健康に即した給食の提供ができています。建物が老朽化し、今後の食の安全・安心が懸念され改築が急務である	B

## 特別活動の充実

児童生徒が充実した学校生活を送り、学級や学校での集団活動を通してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育むとともに個性の伸長に努める。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
島外派遣	中学生が島外で活動する際、旅費等の一部を助成し支援にと止めている	中体連・中文連大会での島外活動時において、一人 5, 0 0 0 円の助成をしている	毎年の財政状況が厳しくなる中において、派遣活動費も削減を余儀なくされている。	A

## 平和教育の充実

生命の尊重と個人の尊厳を基本とし、思いやりの心や寛容の心を育む為にも県や久米島町の歴史や地域の特性を考慮し、児童生徒の発達段階に応じた平和教育を教育計画に位置づけ、学校の教育活動全体を通じて組織的・計画的に推進を図ります。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
平和教育	1, 小・中・高校生の代表が慰霊祭への参加し恒久平和を願う 2, 恒久平和を願う観点から平和学習を開催し平和の継承を育む	1, 6月23日の慰霊の日において学校代表が参加 2, 久米島博物館で特別展、及び戦跡巡りを開催	1, 遺族の高齢化により町慰霊祭への参加率が少なくなる状況 2, 戦争体験者の高齢化、又、参加者の減少となり歴史の継承が薄れつつある	A

## 国際理解・外国語教育の推進

速な国際化に伴い、異なる文化を持った人々と共に協調して生きていく資質や能力を育成することが求められている。学校においては小学校段階からの国際理解教育の充実を図り、あわせてコミュニケーションの手段としての英語を親しませ、小・中学校の学びの連続性を踏まえた英語によるコミュニケーション能力の育成を一層充実させ世に羽ばたけるよう育成を図って参ります。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
国際理解教育	1, A L Tを配置し外国語を通してグローバル人材の育成を図る	1, 中学校の英語の語学指導として配置、外国語を通して態度の育成を図る	1, 仲中・久中で指導、各種行事への参加、独自で情報発信をし町活性化にも貢献している	A
	2, 英語指導員を配置し、将来の国際社会へのステップとなるよう外国語学習を行う	2, 小学校の英語指導者として配置島内 6 小学校で3年生以上の学年で英語学習指導を時実施している	2, 各小3年生以上に英語学習指導、ボランティアでバレーボール指導を行い島内の社会活動で貢献している	A
	3, 国際化・高度情報化時代に対応できるようアメリカでのホームステイを通し広く世界に羽ばたく人材育成を図る	3, 英検3級以上の中学生から3名選出しアメリカに派遣国際的視野により学習させる	3, 英検3級以上の中学生を対象に海外ホームステイ派遣を実施しているが応募者が少なくまだ気持が内向きの傾向である。派遣事業の魅力を伝える必要がある。	A

## 特別支援教育の充実

児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導や必要な支援を行うものであります。学校においては、校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制を構築し児童生徒の状態、特性等や学級の実態に即した教育課程を編成するなど特別支援学級の教育課程の充実を図る組織的な取り組みを推進します。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
就学指導委員会設置	特別支援教育を要する幼児・児童及び生徒の就学指導を行うため調査・審議を行う	就学指導委員により心理学的検査結果を基に特別支援学級又は通常学級にて特別支援員を配置するか判定している	心理学判定員の更なる強化が必要及び今後の人材育成を図る必要がある	A
特別支援教育支援員の配置	学習につまづきのある児童を対象とし基礎学力向上を図る観点から支援員を配置し授業のサポートを行う	小学校に7名の特別支援教育支援員が配置し児童のサポートを行っている	支援員を配置したことで学習遅れの児童が落ち着いて学習に取り組みようになったが、島内小学校で増える状況にあり、財政面、支援員の人材の確保ができない	B
特別支援教育アドバイザーの派遣	特別な支援を要する幼児児童生徒に関する助言、支援学級担任・特別支援教育コーディネーターへの助言、啓発及び相談活動を行う	儀間啓子先生が、特別支援教育コーディネーター連絡会において助言及び支援学級担任や保護者への助言を行っている	特別支援教育アドバイザーの研修の充実、今後の人材育成	B

## 情報教育の充実

高度情報通信ネットワーク社会においては、児童生徒がコンピュータやインターネットを活用し主体的に対応できる「情報活用能力」を育成することが求められています。国際化・情報化の時代に対応する先見性と国際性に富んだ人材の育成を図るため、広い視野を持ち、異文化を理解するとともに、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図る教育を推進する。また、情報化社会に対応できる情報活用能力を育成するため、情報教育の一層の改善・充実に努めます。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
小・中学校情報教育	高度情報通信社会に対応できる為の施策として小中学校の情報機器を整備し、情報活用能力の育成を図る	学校内のコンピューターの環境整備を図り児童生徒のITを活用した情報教育や各学校の情報発信を図る	各学校のホームページの更新等ができない状況にある。	C

## 環境教育の充実

環境教育は、環境の保全など接続可能な社会の創造に向け、児童生徒が環境に対する主体的な行動と実践的な資質や能力及び態度を身に付けるために行う必要があります。学校においては、地球規模の視野に立ち、身近な環境や環境問題に対して関心を持たせ、教育活動全体を通し、人間と環境との関わりについて理解を深める取り組みの推進を図ります。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
環境教育	1, クメジマボタルの生息環境と生態を知り森と水辺環境の大切さを学習する	1, 教育委員会・久米島ホテルの会主催のホテル観察会が4月中旬から5月中旬までおこなわれた	1, 環境変化に伴いクメジマボタルの個体が毎年減少傾向にある。主催側の安全管理体制が弱い	A
	2, リバーウォッチングINカンジン地下ダムを調査し水性生物の種類・水質の学習を行う	2, 各小学校6年生がカンジン地下ダムの浄化施設である南棚田で、水生生物の種類や水質の調査を実施	2, 学校の授業計画の中で時間数の調整に伴い参加する学校数が少なくなりつつある	B

## 幼児教育の充実

幼稚園教育は、園生活全体を通して豊かな心情・積極的な意欲・健全な生活習慣、態度を育て、調和のとれた人格形成の基礎を培うものであります。幼児に適切な環境を与え、遊びを中心とした総合的な指導を通して、幼児の健全な発育を促進しながら、保護者及び小学校との連携を積極的に推進します。

主要項目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
幼児教育	1, 幼稚園児保護者の子育て支援として預かり保育の実施	1, 幼稚園教諭の休暇・出張等の際に補充として派遣している。また、園外保育などへも補充を派遣し安全面等への配慮も実施している	町内各幼稚園にての実施希望があるが、予算及び指導員確保が難しいので仲里・清水幼稚園の2園にて対応している	B
	2, 幼稚園教諭の不在時に補充の職員を配置する	2, 幼稚園教諭の休暇・出張等の際に補充として派遣している。また、園外保育などへも補充を派遣し安全面等への配慮も実施している	複数園で教諭が急な休暇等の場合があった場合対応ができなくなる	B
	3, 支援を要する園児へのヘルパーとして配置する	3, 園外保育などへも補充を派遣し安全面等への配慮も実施している,	幼稚園において支援を必要とする園児が増える可能性があるが現状は人材確保が厳しい	B

## 青少年の健全育成

豊かな心と健全でたくましい青少年を育成する為、学校、家庭、地域社会がその教育機能を発揮するとともに生活体験・自然体験の機会を多く持つとともに、ボランティア活動の活性化に務めます。また、地域社会が「地域の子どもは、地域で育てる」意識を高め、子どもの教育に多くの大人が関わり、地域の教育力の活性化・高揚を図る諸施策を推進し、**地域**青少年の個性伸長や協調性涵養のために、青少年の社会参加や体験活動の拡充を図り、文化活動への参加の気運を高めるために地域の芸能・文化活動等の促進を図ってまいります。

主要小目	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
児童・生徒交流	1, ホームステイを通し家庭・学校交流、又、異文化体験学習を図る。	1, 2月に新潟県十日町市に5年生14名を派遣、7月に14名の児童を受け入れる	1, 近年、児童生手数の減少に伴い特に小規模校では、男女の割当数の調整が必要。十日町市も交流の継続を要望している。	A
	2, 県外の生徒との交流、又、異なる文化・習慣を学習し、発表・交流を通して思考力・表現力の育成を図る	2, 12月に佐賀市への派遣、8月に佐賀市からの中学生を受け入れ交流を図る	2, 男子の応募者が少なく交流学习に支障がある	A
夏休みものづくり体験教室	夏休みの体験学習また自由課題宿題として8つの教室でものづくりに挑戦させる	昔ながらのおもちゃ、又、最近の手作りの道具等、バラエティーに飛んだものづくりに親子で参加	刃物を使うものづくりがあり事故等が懸念されるので確実に保護者そろっての挑戦が望ましい	A
ヤングフェスティバル	子ども達が各教室等で学習してきた成果を披露し自習生・創造性を育むことを目的とする	幅広いジャンルの子ども達の発表会とし、たくさんのプログラムにより家族が声援を送っている	限られた時間内での発表となりもっと舞台発表時間がほしいとの意見がある	B
久米島町子ども読書まつり	本の楽しさ・読み聞かせの楽しさを保護者に伝え家庭で読書の環境づくりができるよう活動を推進する	沖縄県子どもの本研究会の職員による読み聞かせや絵本の解説、展示販売を行っており、多くの親子連れが参加している	読みたい本、本を読む環境、幼児から高齢者まで本に親しむ環境が整備されてなく早急に図書館整備が望まれる	A

## 社会教育の充実

町民の社会教育活動を支援し、時代のニーズに即した学習活動に対応するため、施設の整備や社会教育指導者、体育指導員の養成・活動を充実させ、多様な学習機会の提供を図ります。また、家庭教育や地域活動を支援し、各関連機関との連携に務め地域の教育力の向上に努めます。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
星空観察会	天文学や宇宙について興味や知識を習得し星座について理解を深める	夏休みの8月中旬頃、シンリ浜公園地において、町民・観光客を対象に実施	近年、親子連れでの参加者も増えてきている。屋外を実施主体としているため天候に催しの内容が左右されてしまう。	A
久米島町新春書道展	文字文化を通して忍耐強さ、素直に学ぶ学ぶ心を育成し目標を持てるような人材育成をはかる	島内小・中学生の応募が548点、高校生・一般から30点の応募	活字離れにより書道人口の減少、子ども達の書道力量も横ばい状態であり、学校・地域で更なる取り組みが必要	A
移動図書館ホタル号	幼児・児童、又、町民が誰でも何処に住んでいても、本に親しみ・図書が利用できるよう、移動図書館によりその環境づくりを図る	周3回巡回し図書の貸し出しや絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行っている。	各ステーションへは隔週の巡回となるので利用者に不便をかけている。本の冊数がすくないので増書が必要。 利用者数 約1,200人	B
放課後子ども教室	様々な各種活動を通して放課後における子ども達の居場所づくりを確保し支援を行う	スポーツ・文化・読書・体験活動等により放課後の子ども達の学習環境作りを図っている	各小学校単位とし支援を行っているが、地域に人材が不足し万全な体制が構築されていない	B



## スポーツの振興

生涯スポーツ、健康体力の基礎となる学校体育の充実、生涯スポーツ社会の実現をめざす為、施設・設備の充実を図り、スポーツの普及振興、健康保持・増進に務めます。また、生涯にわたり健康で心豊かな生活を営むためには、自発的・自主的な運動の日常化や健康生活を実践できる能力の育成が重要であり、地域社会及び関係団体等との連携を密にし、支援体制の充実・強化を図ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
町民運動会	町民の親睦と体力増進を目的に全町民を対象に実施	毎年体育の日前後の日曜日に開催。競技やレクの種目において幼児から老人まで楽しんでいる	陸上競技人口の減少に伴い種目によっては欠場するチームがある	C
なつやすみ水泳教室	子ども達が水に親しむとともに体力・泳力の向上を図り健やかな成長を育む事を目的とする	B・Gプールを活用し個々の目標に近づけるようまた健康増進に努める	B・Gプールに近距離にある地域の子どもの参加者は多いが保護者の送迎等の問題で遠距離の参加者が少ない	C
教育長杯学童軟式野球大会	軟式野球に親しむ子ども達に夢と希望を与えるとともに体力向上・技術の向上・交流を図ることを目的とする	野球連盟久米島支部の協力により島内5チームの少年野球による大会	少子化に伴い各チームとも部員が減少傾向にある	A
教育長杯ホタルカップ（バスケット）大会	ミニバスケットボール通して近隣校との交流を図り基本的技能を習得し試合によって体力の向上とたくましい精神を養う	久米島町バスケットボール協会の協力の下、島内小学校より男子3チーム、女子4チームが出場しリーグ戦を行う	少子化に伴い各チームとも部員が減少傾向にある	A

## 生涯学習の推進

生涯学習の推進にあたっては、町民一人一人が学習の各時期において生きがいのある人生を過ごすことができるよう、学習形態と施設の整備拡充や諸施策を展開します。最近の調査によると国民の3分の2以上が「生涯学習」に関心を示しており、人々がいつでも自由に学習機会を選択し、学習活動を楽しもう・生きがいを見いだそうとする学習意欲が高まりつつあるので、的確にニーズを把握し環境を整備するとともに拡充を図って参ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
久米島町文化協会	町民の生涯学習、また久米島町の文化振興が図られるよう育成する	各部会における愛好者の発表会として三線の日等、又、文化祭りを開催している	各部会の取り組みが行われ、発表会を開催しているが、会員・一般参観者が少ない	C
久米島町体育協会	スポーツの普及奨励を通して体位の向上とスポーツ精神の高揚を図り明るく活気のある地域づくりを目的とする	島尻郡球技・陸上大会参加、島内職域大会、町行事、学校関係の行事に協力し、競技力向上、活性化を担っている	島尻郡大会への選手派遣費の一部を自己負担している為、派遣費の増額が必要。町運動会と島尻郡大会が同日となっている	B
三線教室	沖縄が世界に誇る三線を基礎から楽しく習得する事を目的に、初心者向けの教室を実施する	6月から12月まで毎週1回、具志川教室・仲里教室の2ヶ所で実施している	初心者を対象に行っており、町内の三線愛好者の拡大につながっている	B
久米島古典民謡大会	町には古典・民謡・琉歌が多く優れた芸能文化を保存・継承し愛好者の底辺拡大を図る	毎年9月第4土曜日に課題曲3曲から1曲選択し歌唱する出場資格は自由	今年で3回目となるが幅広く募集を行っているものの参加者、又観客が少ない	C

## 文化・文化財の保存継承

町民が等しく郷土の文化にふれ、文化財に対する理解を深めるとともに、豊かな文化生活の形成に資するために、文化財の保存・活用及び芸術文化の振興を図ります。このため、町の史跡等の復元整備をはじめ、国・県・町指定文化材の環境整備を推進するとともに、建造物、美術工芸品、史跡、名勝、天然記念物等の調査、また無形文化財、民俗文化財の継承者養成に努めます。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評価
ミュージアム活性化支援事業	本町の多様で豊かな文化遺産を活用し、観光振興・地域活性化を推進する	博物館デジタルガイドシステム、常設展示ワークシート、久米島紬学習キットなどを制作し、来館者への利用促進、学校の出前講座への利活用	博物館展示内容の魅力化と理解度アップ、久米島紬を用いた地域文化財及び地場産業の学習に活用する	A
具志川城跡保存修理事業	具志川城跡の適切な保存・活用を図るため、調査を実施し城跡修復する	城壁復元修復工事	現在の修復地点の外側基礎部分が高より下の方にあり、石積高が高いので、慎重な設計、施工を要する	A
文化財管理	数多くある指定文化財の適正管理により、学習や観光への活用を図る	草刈り作業、樹勢回復処置、文化財補修	草の伸びに草刈り作業が追いつかない場合がある	B
歌碑建立事業	歌碑を建立し、久米島の昔を語る琉歌の保存継承を図る	字島尻集落に伝わる島尻散山節の歌碑を建立	地域一体となった継続的な歌碑管理、琉歌（歌碑）への誇り、伝承が望まれる	A
久米島紬保存伝承事業	国指定重要無形文化財「久米島紬」の手わざの保存伝承を図る	養蚕、糸作り、織り他、桑畑管理	養蚕や生産技術の向上、製品の魅力化、担い手・後継者の充実した生産活動につなげる	A

特別・企画展開催	教育文化の向上に資するため、特別・企画展等を開催する	久米島まるごと博物館、平和展、夏休み体験学習教室、久米島紬展（現代ニーズに応える製品開発の集大成を展示）、しまま〜いガイド講座（13回）	町民や観光客の博物館への感心度を高め、来館者を増やす	A
----------	----------------------------	--	----------------------------	---

## 教育委員会の活動状況について

### (1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は原則として毎月10日を基本に定例会を開いています。平成24年度は15回(臨時会3回を含む)開催しました。

### (2) 教育委員会会議以外の活動状況

#### ○ 研修会(3回)

沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会（24年度5月）

沖縄県市町村教育委員研修会（24年度10月）

市町村教育委員会委員・教育長研修会（25年2月）

○その他活動状況（各種行事等への出席）

年度	月	行 事 名
24	4	各小学校入学式・各中学校入学式・久米島高校入学式
	4	教職員歓迎会
	5	久米島PTA連合会総会
	7	なかさと交流
	7	各幼・小・中運動会（7月～10月）
	8	中体連陸上競技大会
	9	久米島古典民謡大会
	9	久米島PTA連合会研修
	10	久米島小体連陸上競技大会
	10	久米島地区童話・お話・意見発表会
	11	町学力向上実践発表会
	11	久米島町民俗芸能発表会
25	1	町新年会
	1	町成人式
	1	町ヤングフェスティバル
	2	久米島町新春書道展
	2	各幼・小学校学芸会、各中学校学習発表会
	3	小学校音楽発表会
	3	小・中・高卒業式

## 外部評価委員の意見

委員長 嘉味元ミツ子氏  
委員 吉原 昌司氏  
委員 松本 一也氏